



アジアゾウ

Autumn  
2022

H I G A S H I Y A M A

# ひがしやま 62

名古屋市東山動植物園情報誌



東山動植物園  
Higashiyama  
ZOO & BOTANICAL  
GARDENS



# シンリンオオカミが 2頭来園しました

7月にカナダから2頭のシンリンオオカミが来園しました。オスの「ティム(写真左)」とメスの「リン(写真右)」が現在、北園シンリンオオカミ舎で公開中です。

2頭とも同じ昨年生まれたばかりの1歳なので、あどけなさや甘えん坊の部分は残るものの、オオカミらしい堂々とした風格も時折のぞかせてくれています。

暑い時期は涼しい部屋の中でゆったり暮らす時間が長くなりがちで見づらくなることもありますが、ぜひ会いに来てください。

(飼育第二係 江口 雄作)



## Contents

- |   |   |
|---|---|
| <b>00</b> 動物園トピックス<br>「シンリンオオカミが2頭来園しました」 | <b>07</b> 東山動物園のレッドリスト動物Vol.21<br>「コツメカワウソ」                     |
| <b>01</b> 動物園長のエッセイ<br>「アジアゾウのお姉さん」       | <b>08</b> 植物園長のエッセイ<br>「中南米産植物温室 ～名古屋市・メキシコ市<br>姉妹都市45周年を迎えて～」  |
| <b>02</b> 飼育レポート<br>「アジアゾウ、2度目の繁殖について」    | <b>09</b> 植物管理人だより<br>「ティランジア Tillandsia(エア・プランツ)その3」<br>「コスモス」 |
| <b>04</b> 飼育だより                           | <b>10</b> 植物園<br>「秋におすすめの植物」                                    |
| <b>06</b> 動物病院日誌 Vol.61<br>「動物の寄生虫検査」     | <b>11</b> 植物園トピックス<br>「夏休み特別講座<br>～いろいろな葉っぱ・不思議な葉っぱ～」           |

表紙／アジアゾウ (Elephas maximus) 長鼻目ゾウ科

アジア東南部(インド、スリランカ、インドネシア、タイ等)の森林にメスを中心とした群れで生息する。乱獲や森林破壊等の影響で絶滅が心配され、近年野生での生息数は3万5千～5万頭ほどと推定される。10歳頃から出産が見られ、妊娠期間は21～23か月。ワシントン条約附属書I表、IUCNレッドリスト:EN(絶滅危惧IB類)。(撮影/茶谷 公一・文/内藤 仁美)

## 東山動物園サポーター募集中!!

動物園サポーター制度は、動物たちが豊かで充実した生活を送ることができるように、飼育環境改善や動物福祉などを資金面からご支援いただくものです。

サポーターの区分と金額	個人	大人 3,000円以上 中学生以下 1,000円以上	サポーターの方に動物や東山動物園をもっと知っていただくために…	① 動植物園情報誌「ひがしやま」をお送りします。(4回) ② サポーターの方を対象にサポーター限定イベントを開催します。
	法人・団体	10,000円以上		

個人10,000円以上、法人・団体50,000円以上で支援いただいたサポーターは、氏名、法人・団体名を園内に掲示することができます。

### 申込方法

- |                            |  |
|----------------------------|--|
| <b>①</b> 動物園内で手続きをしていただく場合 | 動物会館図書室で申込書を記入の上、寄付金をお支払いください。   |
| <b>②</b> 郵便振込で手続きをしていただく場合 | 振込用紙をお送りしますので、動物園サポーター事務局までご連絡ください。<br>サポーター事務局 / 公益財団法人東山公園協会 動物会館 TEL052-782-2111(内線340) |

## アジアゾウのお姉さん

9年ぶりとなるゾウの赤ちゃんが誕生しました。東山動植物園として2例目で、国内では15例目となります。また群れ飼育に対応した現在のゾージアム(新ゾウ舎)では初の繁殖です。ゾウは繁殖自体がとても難しい上に、出産に成功しても自分の子をうまく育てられない場合もあります。ゾウは陸上では最大の動物ですが、環境の変化に影響を受けやすいデリケートな一面もあります。そのような中で“アヌラ”は飼育下において、国内でも余り例のない「群れ出産」となり、“さくら”はお姉さんゾウになりました。

野生でのゾウの群れは母系社会。血縁のある雌ゾウとその子ゾウたちで構成されます。年長の雌ゾウがリーダーとなり、群れは強い絆で結ばれています。育児も群れ全体で協力して行うため、母親以外の雌ゾウも子育てを「支援」します。お姉さんゾウとなった“さくら”にも赤ちゃんを守ろうとして気遣う社会行動が見られます。そのため、お母さんゾウの“アヌラ”も赤ちゃんに終始つきっきりだった初産と比べて“さくら”がいることで負担が軽くなっているようです。もちろん若い“さくら”にとって子育てを学ぶ絶好の機会です。ちなみに野生下で雌ゾウは生まれた群れに留まりますが、雄ゾウは成長すると群れを出ます。お姉さんゾウとなった“さくら”と赤ちゃんゾウがこれから同じゾウの群れでどのように成長していくのかとても楽しみです。

東山動植物園にとってアジアゾウは特別な存在です。開園当初から飼育展示されていて、戦時中は猛獣として処分されそうになったり、エサの調達が厳しくなるなど苦難の歴史を経験しましたが、多くの関係者に守られたことで命をつなぐことができました。動物園は平和の象徴とも言われますが、その存在は今を生きる人たちのためだけではありません。次の世代のために種をつなぐ動物園でなくてはなりません。秋まつりのこの機会に、同じ地球に生きている大切な仲間である野生の動植物たちにぜひ会いに来て下さい。

(動物園長 黒邊 雅実)





# アジアゾウ、 2度目の繁殖について

## 1 はじめに

2022年6月26日、アジアゾウのアヌラ(メス)とコサラ(オス)にとっての第2仔が誕生しました。今回は東山動植物園で初めて生まれた「さくら」以来9年ぶりとなったアジアゾウの誕生について報告します。

## 2 妊娠まで

2020年8月、アヌラとコサラの第2仔の誕生を目指して、繁殖のための同居(ペアリング)を行いました。アヌラとさくらの陰部の状態や血液中のホルモンから、アヌラの発情期かつさくらの非発情期をピンポイントで狙っての、アヌラ・さくら・コサラ3頭同居でした。アヌラとコサラの交尾が無事確認され、その後の血液検査で、血中プロジェステロン値が高い値で維持され、妊娠が疑われました。そこで出産に向けて様々な準備を整えはじめ、2021年6月のエコー検査で胎児の姿が確認されたため、皆様に妊娠をお知らせする運びとなりました。



採血の様子

## 3 出産までの準備

ゾウは野生下では母ゾウ、その子、またその子などからなる母系の群れで生活しています。群れの中での出産・育児は、母ゾウはもちろん、経験のある高齢ゾウや若いゾウなどみんなで行います。若いゾウはそうした中で出産・育児というものを学び、その経験は自らの出産時に生かされるとされています。今回の出産はアヌラにとって2度目の出産であるため、アヌラに落ち着いて安全に出産してもらうこと、またアヌラの第1仔であるさくらに出産を見て学習してもらうことを目的に、想定される様々な準備をしてきました。

さくらにとってアヌラの出産というのは初めての経験であり自分よりも小さいゾウなど見たこともないため、私たちも突然生まれた仔ゾウに対してさくらがどのような反応を示すのかわかりませんでした。突然現れた仔ゾウに対して驚き、攻撃してしまう可能性もあるため、それを回避し、アヌラに安全に出産してもらうためにアヌラとさくらを分離する練習を行いました。さらに出産後に万が一、仔ゾウにトラブルがあった場合でもケアできるように、アヌラに対してアンクレットの装着、チェーン係留の準備もしてきました。



アンクレットの装着練習

## 4 出産

ゾウの妊娠期間は22か月±1か月と非常に長期間にわたります。その中で十分な準備とサポートをするために出産日を特定することが重要になります。そこで定期的な採血を行い、前述した血中プロゲステロンの値を参考にしました。このホルモンは妊娠を維持するためのホルモンであるため出産が近づくと急激に低下し、出産が近いことを示します。出産予定日が近づいた2022年4月27日より毎日の採血となり、約2ヵ月後の6月21日に血中プロゲステロン値が1ng/ml以下と急激に低下したため、24時間体制での監視を開始しました。ここからは頻尿や糞の大きさ、動作の緩慢さ、採食量の低下など9年前の出産時の事例を手掛かりに出産兆候を見逃さないように観察を行いました。



出産直後の様子

しかしながら糞の大きさや頻尿、動作の緩慢さなどが少しずつ見られたものの採食量の低下や痛みに耐える動きやお尻を低くかがめる姿、いきむ姿など陣痛に伴う行動などはほとんど確認できませんでした。

24時間監視5日目の25日夕方エサを通常通り食べ、特に目立った変化はみられず、今日も出産はないかと思ていましたが、夜間に急に陣痛に伴う行動が確認されはじめました。そこから数時間後の日付が変わった頃に、破水し、それとほぼ同時に仔ゾウが生み落とされました。私たち飼育員は予想外のスムーズでスピーディーな出産に準備してきたチェーン係留はおろか、アヌラとさくらを分離する間もなく、さくらが同室にいる状態での出産となりました。

## 5 出産後

嬉しい誤算だったのはさくらの反応でした。アヌラは2産目ということもあり、慌てる様子もなく落ち着いた対応でしたが、さくらの反応も、初めこそ驚きや戸惑いも見られたものの、仔ゾウを鼻で確認し、アヌラに寄り添い、仔ゾウを鼻の下に置いたり、危険なものを回避するように誘導するなど仔ゾウを守る行動がみられたのです。今まではアヌラといつも一緒におり、お転婆で子供っぽい姿も多くみられていたさくらが、母ゾウのアヌラとともに仔を守る姿がみられたことは非常に嬉しいことでした。



授乳中



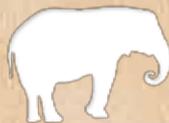
出産後3頭の様子

生まれた仔ゾウもしっかりとしており、生まれて数時間後にはしっかりと立って歩き、授乳もスムーズに確認されました。

アヌラも授乳以外の時間に仔ゾウの世話をさくらに任せることも多くみられるようになりました。前回のさくらの出産時はアヌラ自身ですべて子育てしなければならなかったもので、採食量の低下がみられ、横臥しての睡眠が1か月以上できなくなるなどがありました。今回の出産ではさくらが同室にいてくれることで仔ゾウの世話を任せて採食の時間を確保でき、また出産の3日後には短い時間ではありましたが横臥での休息も確認されました。このこともさくらが同室で出産に立ち会い、すぐに育児に参加できたメリットであったと考えています。

## 6 おわりに

今回、2度目のアジアゾウの出産にむけて、飼育員と獣医師等で多くの話し合いを行い、様々な準備を行ってきました。このことは非常に大切なプロセスでしたが、結果アヌラやさくらたちのおかげで安全な出産となり、新しい仲間を迎えることができました。今後は、仔ゾウの成長と、それに伴い変化していくであろうアヌラとさくらの関わりに着目しながらゾウ達のケアにあたることを非常に楽しみにしています。みなさんも今後のアヌラと仔ゾウ、さくらの関係性にも注目しつつ、コサラとワルダーを含めた5頭の東山のゾウ達に会いにきてください。 (飼育第一係3班 前田 悠介)



飼

育

## とらやまの日

10月8日は語呂合わせから“とらやまの日”です!「とらやま」とはツシマヤマネコの現地で呼び名の一つで、「トラ柄(キジトラ柄)のヤマネコ」を端的に表現した呼び名です。例年当園では、アニマルトークを実施して、野生のツシマヤマネコの現状・飼育下の状況・当園の飼育状況をお伝えしています。保護増殖事業をしていく中で“普及啓発活動”はあまり注目されることがありませんが、とても重要な

活動の一つで、生物の研究や保護活動は「注目度や知名度の高い」ものが進められやすいと言う研究報告がある程です。昨年は、2日間だけですが仔猫を公開して多くの方に興味を持っていただく機会を設けることができました。今年は残念ながら出産に至りませんでしたので、昨年のような機会を設けることはありませんが、多くの方に知って、見て、興味を持っていただいてツシマヤマネコの知名度をもっと上げていき、繁殖・普及啓発の両面でツシマヤマネコの保護事業に邁進していきます。



飼育第一係1班 加藤 俊紀

## まるこのしっぽ

レッサーパンダのまるこはしっぽが薄毛の女の子です。お客様にもたくさんご心配をいただいております。時には予想外のしっぽの細さで驚かせてしまうこともあります。

深刻な病気等ではないので安心して下さい。まるこは元気です!

ただやっぱりもふもふしっぽを目指したい…と密かにしっぽ増毛大作戦実行中です。

主食の竹をミキサーで食べやすくしてみたり、旬の物をあげたり、フィーダーで採食時間を延ばしたり、木や枝を増やしてみたり、お気に入りの場所で過ごせるよう寝室を変えてみたり。栄養面や精神面などのケアに加えて獣医による定期健診も行いながら、一進一退頑張っています。最後に去年と今年の6月の写真をご覧ください。どうですか?



飼育第一係2班 小林 瑛理子

## ユーカリの種

ユーカリはとても大きく成長する樹木で、100mを超えるものもあります。しかし種はとても小さいのです。名古屋では例年お盆を過ぎてから種を採取します。花が咲いた後に丸い実をつけて、その実が熟して十字に蓋が開きます。その中からとても小さい種が出てきます。こんなにも小さい種で100mを超える大きさに成長する樹になるなんて驚きです。

この小さい種を育苗箱に蒔いて発芽さ



ユーカリの実

せてユーカリを栽培していきます。発芽の良いもので1g100本程のユーカリが発芽します。種が小さいので慎重に播種していくのですが、くしゃみでもすると種が飛んで



ユーカリの種

行ってしまうので、播種する際はくしゃみ厳禁です。

飼育第一係4班 氏家 雅人

## 暑さ対策

東山動植物園のアメリカゾーンには4頭のアメリカバイソンが暮らしています。立派な体格で雄では体重が1000kgにもなり見た目にはとても強そうに見えます。

しかし、バイソンは牛の仲間で野生では草や木の葉などを食べる植物食です。動物園では青草や牧草を乾かした乾草などを与えています。また野生では冬、雪が降り、とても寒い北米地域に住んでいるので、寒さにはとても強く東山動植物園でも雪の降る日に体に雪が積もっていても平気で餌を食べ



過ごしています。

一方、暑さは苦手で、冬毛から夏毛に変わるもの、暑い日には口を開けて呼吸したりして暑そうにしています。バイソンたちは、日陰を求めて少しでも涼しい場所に移動したり、プールに足だけ浸けて少しでも涼しくするようにしたりして自ら暑さ対策をしています。



私たち飼育員も日中の暑い日にはスプリンクラーを活用して少しでも涼しくなるように工夫しています。涼しくなって活発に活動するバイソンを観察できるようになったら、もっと興味を持ってもらって、バイソンのことを好きになってもらえるとうれしいです。

飼育第二係1班 木村 幸一

## ムササビとモモンガ

日本産の夜行性動物で似ていて異なる動物と云えば、ムササビとモモンガだと思います。

ムササビはリス科ムササビ属の動物で、国内に棲むリスの仲間としては最も大型です。ムササビは主に大木の生えた山林や、人里の神社やお寺の軒先などの壁に穴を開けて巣として使用するなど人の生活圏に近い環境でも暮らしています。モモンガ(ホンシュウモモンガ)はリス科モモンガ属の動物で、ムササビに比べるとかなり小型です。

モモンガは主に山地を好む傾向があります。ム

ササビもモモンガも空を飛ぶといわれますが、厳密に言うとは飛んでいません。滑空をしているのです。鳥のように自分の力ではばたいて飛ぶことはなく、高い木から落下する力で紙飛行機のような飛び方をします。

よく言われるように、飛んでいるときはムササビは座布団、モモンガは往復はがきくらいの大きさです。

体の大きさ以外でムササビとモモンガを比べると最も解りやすいのは目の大きさだと思います。モモ



モモンガ



ムササビ

モンガは顔に対してとても大きく目が発達しています。他にも違いがあるのでよく観察してみてください。

飼育第二係2班 外部 一也

## 世界で最も小さいメダカ!

2022年7月10日現在、世界中で39種類のメダカが確認されていますが、その中で最も小さなメダカがタイメダカです。

その大きさは成魚でも約1.5cm!メダカ館ではこのタイメダカも飼育していますが、オスとメスを見分けるだけでも一苦労です。写真の右がオスです。

体が小さいため産まれる卵も直径約1mmと、とても小さく、確実に殖やすために糸糸に産み付けられた卵を採集するのです



成魚



稚魚



卵

が、老眼が始まりつつある自分にはなかなか…。孵化してくる稚魚も約4mmしかなく、口も小さいため、ワムシというプランクトンを増やして餌として与えています。

そうして無事大きく(小さいですが)成長した魚たちを展示水槽に出して、皆さんに

観ていただいています。他にも色々な特徴を持ったメダカ達がいるので、タイメダカをはじめ色々なメダカ達に会いに来て下さい。

飼育第二係3班 渡辺 敬一

寄生虫とは栄養の摂取や繁殖をするために、他の生物に取り付く必要がある生物のことです。動物園の動物たちは衛生管理がされた環境で生活していますが、寄生虫に感染する可能性はゼロではありません。来園前に寄生虫に感染している場合もあります。

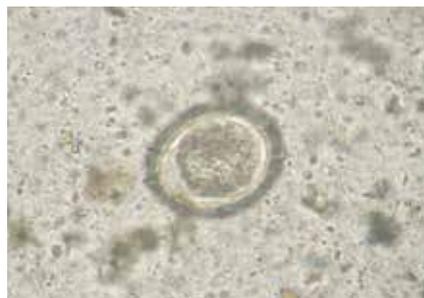
寄生虫は動物の体表面に寄生する外部寄生虫と体内に寄生する内部寄生虫に分かれています。寄生虫に寄生される生物を宿主といい、寄生虫の種類により宿主となる動物は決まっています。宿主が死んでしまうと寄生虫も生きられないため、寄生虫が本来の宿主に対して激しい症状を起こすことは殆どなく、無症状であることもあります。しかし、外部寄生虫であるダニは細菌、ウイルスなど病原体を媒介する恐れがありますし、多数寄生している場合は血液を多量に吸われて貧血が起こることもあります。また、消化管の中の内部寄生虫によって嘔吐や下痢などの症状が起こることがあります。そのため、動物が寄生虫に感染していないか検査をすることは健康管理を行う上で重要です。動物だけでなく人にも感染する寄生虫がいますので、動物に関わる人の安全の確保の上でも大切なことです。

内部寄生虫の多くは宿主の小腸、大腸に寄生して卵を生み、虫卵または虫体は糞便と共に体外へ排出されます。糞便に含まれる寄生虫卵や虫体が、体内にいる寄生虫を見つける手掛かりになります。虫卵はとても小さいので光学顕微鏡を使わなければ見る事が出来ません。

糞便中の寄生虫卵、虫体の検査法として、糞便を直接見る方法(直接法)と、虫卵を収集してから見る方法(集卵法)があります。直接法は糞便を生理食塩水(0.9%食塩水)に溶かしたものを顕微鏡で観察する方法です。最も簡単に行うことが出来る方法ですが、糞便中には食物残渣があるため虫卵が見えづらい、排出され

る虫卵の数が少ない場合は見逃してしまうなどの欠点があります。集卵法は糞便中の食物残渣を取り除き、虫卵を集めることで発見しやすくする方法です。集卵法にはいくつかの方法がありますが、ホルマリンなど取り扱いに注意を要する薬品を使用する、危険性のある薬品を使わない方法は全ての種類の寄生虫卵に適応できないなど、この方法も万能ではありません。動物病院で主に行っているのは、集卵法の中で最も簡便な浮遊法です。飽和食塩水(水に食塩を限界まで溶かしたもの)に糞便を溶解し、虫卵を液面に浮上させる方法です。

検査の結果、動物が寄生虫に感染していることが分かり、駆虫が必要と判断した場合は駆虫薬の投与を行います。駆虫薬は寄生虫の種類によって使い分ける必要があります。投与の方法も異なります。また、動物によっては使用できない薬もあります。動物は薬をそのままでは飲んでもくれないので、好物の餌に混ぜて与えるなどの工夫を飼育員さんにしていただいています。



回虫卵



糞線虫

(指導衛生係 濱口 真帆)

【動物取扱業登録】

名称:名古屋市、事業所の名称:名古屋市東山総合公園、事業所の所在地:名古屋市千種区東山元町3-70、動物取扱業の種類:展示、登録番号:第0701027号、登録年月日:2007年6月1日、登録の有効期間の末日:2027年5月31日、動物取扱責任者:黒邊 雅実

レッドリストとは、IUCN(国際自然保護連合)が1986年から刊行している世界で絶滅の恐れがある野生生物種のリストです。2022年(バージョン2022-1)においては10,654種が「絶滅の恐れのある動物種(脊椎動物)」として掲載されています。

# コツメカワウソ

分類：哺乳綱 食肉目 イタチ科 ツメナシカワウソ属  
 学名：*Aonyx cinereus* 英名：Asian Small-clawed Otter  
 分布：南アジア、東南アジア、中国南部、台湾  
 絶滅危惧ランク：VU (IUCNレッドリスト 2015年評価)



**VU**  
 2015 IUCN  
 レッドリスト

絶滅種 (EX/EXTINCT)	絶滅が確認された
野生絶滅種 (EW/EXTINCT IN THE WILD)	野生では絶滅した
絶滅危惧IA類種 (CR/CRITICALLY ENDANGERED)	絶滅寸前の状態にある
絶滅危惧IB類種 (EN/ENDANGERED)	近い将来絶滅する恐れが高い
絶滅危惧II類種 (VU/VULNERABLE)	絶滅の恐れが高い

**ア** ジアゾウ舎ゾーリアムでは、同じ南アジア地域に生息する動物としてコツメカワウソを飼育展示しています。

生息地域はインド南部から東南アジア、中国、台湾に至るまでと広く、標高の比較的高い溪流から、湿地、森林、田んぼ、小川、沿岸部のマングローブ林にまで家族で暮らしています。カワウソの仲間にはラッコを含め13種ある中で、コツメカワウソは最も小さく体重は3~5kg、体長が40~60cmほどで、体の大部分は茶色の柔らかな毛で覆われています。四肢には水かきがあって、泳ぎが得意で、上手に小魚などを捕まえることもできます。主に甲殻類、魚や昆虫などを食べますが、奥歯が発達しているので甲羅の硬いカニをとくに好むといわれています。

**野** 生での生息数は過去30年間で30%以上減少したとされ、その原因は、生息地となる湿地や森林を開発して住宅地やコーヒー・紅茶のプランテーションにしてしまったことや、マングローブ林を埋め立てて水産養殖場にしたことが挙げられます。また近年、ネットメディア等で動物園のカワウソが大変人気となり、ペットにするための密猟や違法取引が世界的に横行し、個体数減少の大きな原因となっています。日本でもペットショップで売られていたり、「カワウソ・カフェ」が話題になったこともあって、2019年にワシントン条約付属書I (CITES I)に指定され、商業取引や一般の人がペットとして飼うことが規制されました。国内の動物園や水族館では、コツメカワウソは人気動物のひとつで、(公社)日本動物園水族館協会の加盟園館のうち48園館で210頭が飼育されています。絶滅が危惧されていることから、「計画管理種」として遺伝的(いわゆる血統)に配慮した繁殖や適正な飼育の管理が行われています。東山動植物園においても、これまでに繁殖したものも含め60頭近くの個体を飼育しています。その中でも、2014年に来園したメスのヒナタは、繁殖もしており、来園者から人気があります。

(動物園 茶谷 公一)

# 中南米産植物温室

～名古屋市・メキシコ市姉妹都市45周年を迎えて～

名古屋市とメキシコ市は昭和52年度に姉妹都市提携を結んでおり、今年度、姉妹都市45周年を迎えました。メキシコは植物の種類が豊富な地域で、「中南米産植物温室」は、姉妹都市提携5周年だった昭和57年度に両市友好を記念して建設が決まり、昭和59年4月にオープンしました。中南米地域は、地形的には高原から海岸まで、気候的にも乾燥域帯から熱帯降雨林までと、環境条件が非常に変化に富んでいます。植物もそれらの色々な環境条件に適応して、変化に富んだかたちをしています。サボテンやユッカ、リュウゼツランなどは、中南米の乾燥地帯の景観をかたちづくる代表的な植物です。また、アナナス類やランの仲間も、乾燥域帯から熱帯降雨林にいたるまで幅広く分布しています。同温室ではこれらの植物を展示し、皆さんに紹介しています。

まず温室の入り口をくぐると、キンシャチ(金鯪)(*Echinocactus grusonii*)をはじめとするサボテンが目にとまります。キンシャチはメキシコ原産の大型種のサボテンで、「玉サボテンの王様」と呼ばれることもあります。野生の状態では著しく稀で、IUCNレッドリストでは、絶滅危惧IB類(EN)に評価されています。ところで、サボテンはサボテン科に属する植物の総称で、自生は南北アメリカとその周辺の島々に限られています。一般に砂漠の植物と思われがちですが、分布は広く、砂漠よりもむしろその周囲に多く生育しています。中には標高が高く雪が降る所に生育する種もあります。自生地の環境は、長い乾季と短い雨季、そして昼夜の温度差が40℃ほどもある厳しいものです。その形は様々ですが、乾燥に耐えられるように葉が退化して、茎が多肉化しています。また、ほとんどの種類は鋭い棘を持ちますが、これは葉の変形したものと考えられています。

さらに温室を左回りで奥に進むとパイナップル科の植物に出会うことができます。パイナップル科の植物は一般にアナナスと呼ばれています。この仲間も中南米原産ですが、葉のつき方は、株元に水を集めるような仕組みになっています。多くの種類は、樹上や岩上に着生しており、根は水を吸収するより着生するための役割を大きく担っていて、水分は葉から吸収して乾燥に耐えるように進化しています。中にはサルオガセモドキ(*Tillandsia usneoides*)のように根が退化してなくなってしまった種類もあり、枝などに引っかかって垂れ下がる様は、まるでレースのカーテンのように見えます。また、温室にはメキシコの古代暦や土器などのインテリアも飾っていますので、楽しく観賞していただけると幸いです。

(植物園長 岡本 誠)





# 植物管理人だより

## ティランジア Tillandsia (エア・プランツ) その3

ひがしやま58号ではパイナップル科のティランジアの様々な姿を紹介しましたが、今回は様々な大きさについて紹介します。

ティランジアの大きさは高さ1cmぐらいの物から1mを超える物まであります。比較的に入手しやすい物は手の平に軽く乗る物が多いようです。



写真①ブルボーサ(右)ブルボーサ'ミニ・ブラジル'(左)



写真②ラティフォリア'ドワーフ'(右)ラティフォリア'アナコンダ'(左)

写真①右のブルボーサ(*T.bulbosa*)は高さ10cmで、写真①左のブルボーサ'ミニ・ブラジル'(*T.bulbosa* 'Mini Brazil')は高さ3cmとかなり小さいです。

写真②右のラティフォリア'ドワーフ'(*latifolia* 'Dwaerf')は高さ12cmで、写真②左のラティフォリア'アナコンダ'(*latifolia* 'Anacomda')は60cm(まだまだ大きくなると思われる)、同じ種のラティ

フォリアでもかなり大きさが違います。

また、花を咲かせてしまった株はもう大きくなりません。同じ親株から増やした物イオナンタ・イオナンタ(*T.ionantha* var.*ionantha*)でも環境の違いにより、写真③右の花が咲いてしまった物は高さ6cm、写真③左の咲いてない物は高さ11cmと大きさが違います。

マニアの中では花を咲かせないように少しでも大きく育て姿、形を楽しむそうです。



写真③イオナンタ・イオナンタ(右:開花)イオナンタ・イオナンタ(左)

指導園芸係 水谷 靖広

## コスモス

秋の花といえば、皆さん何を思い浮かべますか?私は「コスモス」です。

「コスモス」はメキシコ原産のキク科コスモス属の一年草です。

18世紀末にメキシコからスペインに渡り、そこで「コスモス」と名付けられました。日本に渡来した時期は諸説ありますが、明治末期には全国に広がっていたようです。

コスモスは草丈1~2mで糸のように細く裂けた葉をしています。草丈が高いわりには茎が細く華奢です。その華奢な茎に直径6~10cm程度の花を咲かせます。

花は通常8枚の花びらを持ち、白やピ



ンクなど淡く優しい色の花を咲かせます。

コスモスの名前の由来は、「美しい」「調和」などの意味を持つギリシャ語の「kosmos」からきています。「調和」はコスモスの花言葉にもなっています。

コスモスの和名「秋桜(あきざくら)」の

由来は、コスモスの花が秋に咲くこと、また花びらが桜を連想させることから名付けられました。

緑地造園係 山田 靖

## 秋におすすめの植物

### 1.コウヤボウキ

*Pertya ovata* Maxim. キク科

高野山で茎くきを束ほろきねて箒ほうきの材料としたことからこの名前が付けられたと言われています。

キク科には珍しい木本性植物です。

白い筒状の花が十数個集まった直径1センチほどの花を咲かせます。

合掌線(也有園近く)にて展示しております。



### 2.オキシデンドラム・アルボレウム

*Oxydendrum arboreum* (L.) DC. ツツジ科

アメリカ東部が原産の落葉樹です。

夏には、スズランのような形をした白い花を咲かせます。

そのため、スズランノキとも呼ばれています。

秋のおすすめは鮮やかな紅葉です。

アメリカ産植物見本園にて展示しております。

### 3.ヤツデ

*Fatsia japonica* (Thunb.) Decne. & Planch. ウコギ科

日当たりの悪い日陰でも生育することができる植物です。

葉は深い切れ込みがある大きな掌状しょうじょう※1で、その形はまるで天狗の羽うちわのようにみえます。

枝先に白い小さな5弁花が密についた球状の花が集まり、大きな円錐花序えんすい※2をつくります。

ホタル沼、也有園等で展示しております。

※1 ある一点から複数のものが放射線状に広がり、すべてがひとつの平面上に並び、手のひらに似た形になった状態

※2 多くの花が全体として円錐状に集まって花序を形づくったもの



## 夏休み特別講座 ～いろいろな葉っぱ・不思議な葉っぱ～

令和4年7月24日曜日に、夏休み特別講座～いろいろな葉っぱ・不思議な葉っぱ～を開催しました。

小学3～6年生の7組が、葉っぱの大きさや形、手ざわり、匂いなどを観察し、葉っぱの大切な役割を学びながら、葉っぱの不思議を楽しく体験しました。



### “葉っぱを仕分けしよう”

いろいろな形の葉っぱを、よく観察して、種類ごとに分けました。手ざわりや匂いもヒントになりました。



### “葉っぱの形をうつしてみよう”

お気に入りの葉っぱの上に、画用紙を乗せて、色鉛筆でこすり取ってみました。

葉っぱの形がよくわかります。



### “繊維で縄を編もう”

分厚い葉からとれた繊維で、ロープを編みました。

ねじねじねじねじ……。

立派なロープが出来ましたよ。



### “色づく葉っぱ”

藍染の原料「アイ」の生葉で叩き染めに挑戦!

色がよく出るようにトントン叩くと、葉っぱの形にきれいに染まりました。



### “虫をたべる葉っぱ”

食虫植物の虫の捕まえ方を習った後に、実際に食虫植物を二つに割って観察しました。

中にはまだ生きている虫も発見しました。

この体験をきっかけに、葉っぱのつくりや役割など、さらに興味を持ってもらえるとうれしいです。みなさんも身近な葉っぱを観察し、五感を使って、新しい発見を感じてみてください。

# 東山動植物園への 遺贈寄付をお考えの お客さま

名古屋銀行では、東山動植物園に遺贈寄付を  
ご希望されるお客さまのご意向を実現させるため、  
きめ細かいサポートを行います。

## お客さまの想いをかたちに。

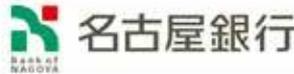
お客さまの多様化する相続関連ニーズに  
幅広くお応えします。

### 協定締結先への遺贈寄付について

遺贈寄付とは、個人が遺言書によって遺産の全部、または一部を  
特定の個人や団体などに寄付することをいいます。



遺言書があれば、法定相続人以外にも相続させることができます。



## 東山動植物園

### \* 北園 \*

### 遊園地

### 大観覧車



名古屋の街を  
みわたそう

### ジェットコースター



風を切って  
走る!

●営業時間10:00~16:50  
(のりもの券の発売は  
16:40まで)

営業時間を変更する場合があります。

\*1Dayパスポート・お得なチケット  
及びアトラクションの利用制限等、  
詳しくはホームページをご覧ください

URL:<http://www.higasiyama.jp/>

★アトラクション	利用料金	★アトラクション	利用料金	★アトラクション	利用料金	★アトラクション	利用料金
☆ミラーハウス	120円	☆モノレール列車	240円	☆大観覧車	360円	☆くるくるキリン	240円
☆ふしぎたんけんの館	240円	☆フラワーストーム	360円	☆ハニービー	240円	☆スローシューター	360円
☆メリーゴーランド	240円	☆くまさんコースター	240円	☆ビックリハウス	240円	☆フライングイーグル	360円
☆ティーカップ	240円	☆コアラ列車	240円	☆ニューバイキング	360円	☆ジェットコースター	360円
						☆レッドバロン	360円

## ひがしやま 61 号のクイズの答え

Q 2022年に新種であることがわかった  
東山公園にすむサンショウウオのなまえは?



- ① オワリサンショウウオ
- ② ヤマトサンショウウオ
- ③ ミカワサンショウウオ

A 正解は  
①  
オワリ  
サンショウウオ  
でした。

裏表紙/カイノキ(ランシボク) <Pistacia chinensis Bunge> 植物園の花園橋近くに植えられているカイノキは中国原産の落葉高木です。中国では孔子廟に植えられていることで有名です。細長い小葉の奇数羽状複葉で、秋の紅葉が大変美しい樹木です。(撮影:市野 実/文:石川 和之)

ひがしやま  
62号 2022 秋

発行所/公益財団法人 東山公園協会  
〒464-0803 名古屋市千種区田代町字瓶木1-62  
TEL 052-782-2111(内線340)

協力/名古屋市東山総合公園  
発行日/令和4年9月29日



カイノキ(ランシンボク)

Autumn  
2022

H I G A S H I Y A M A

# ひがしやま 62

名古屋市東山動植物園情報誌